

2023 年（令和 5 年）度事業の基本方針

新型コロナウイルス感染症も 5 類に分類されるなど、経済活動はほぼ以前にもどり、日常生活も回復してきた。財団事業においても、委縮していた活動や交流が、以前のように戻る見通しとなった。

また、基本財産として所有するベネッセホールディングス株式の配当も 20%増配となり、年間 19 百万円余を新たに事業にあてることができ、縮小していた事業を再び充実させる財源となった。

基本的には、2019 年度に再編した事業分野を継続し、従来から取り組んできたオンライン等の活用による基盤整備をより一層進め、対面での場を再び再開させながら、助成対象者の活動が相互に連携、啓発し合い、地域の活力が継続するような支援を行う。

（1）基本の方針

- ・ 公募助成事業の更なる事業の充実を図る。アフターコロナで日常生活が戻る中で、応募数増加を図る。
- ・ 助成対象者への側面的な支援の充実を図る。
- ・ より有効な事業活動に資源を集中できるよう様々な業務を改めて見直し、システム化を図る等具体的な取り組みを行う。

（2）表彰事業

- ・ 新たな候補者発掘につなぐことができるよう、地域の情報収集に努め、推薦者数の増加を図る。
- ・ 受賞後 3 か年の継続助成が賞の特長であることを更に発信し、受賞者のフォローアップと賞の周知に努める。

（3）助成事業

- ・ 助成事業全般について現在までを振り返り、大局的な見直しを行う。有識者による客観的な評価や助言を得て、より時代に対応した形へと修正していく。
- ・ 助成対象者との一層のコミュニケーションを図るため、団体相互間が交流、啓発できるような場を提供し、財団事務局との接触頻度を増す。
- ・ コロナ禍で、3 年間中止していた大規模な全体会（成果報告会ステージ発表、交流会）の直接対面イベントを復活させる。
- ・ 「助成業務支援システム」の運用と改善を更に進める。運用に係るすべての人（助成申請者、審査委員、事務局）の意見を尊重しながら、より一層使いやすく、効率的なツールになるよう、不具合の修正等の改善を適宜行う。

2023年(令和5年)度の事業計画

(単位：千円)

公益目的事業Ⅰ 教育文化活動支援事業 (定款第4条1項第1号)

予算総額 148,900 (前年度当初 130,930 今回補正後 143,615 ※共通経費を含む)

1 表彰事業 予算総額 4,000 (前年度当初 3,600 今回補正後 3,855)

… 「福武教育文化賞」の第5回目の実施となる。将来、地域振興の担い手となることが期待される個人・団体を表彰できるよう更に周知に努め、推薦数の増加を図るとともに、福武らしい受賞者を顕彰する。贈賞式は、単独開催とし、各受賞者から活動内容と今後について発表機会を設ける。また、受賞後3か年の継続助成制度についても、全員利用されるよう働きかける。

福武教育文化賞

《目的》 岡山県の教育文化の振興に顕著な業績をあげ、今後の更なる貢献が期待される個人・団体を表彰し、功績を称えるとともに後進の目標とする。

《対象》 岡山県内に在住又は岡山県に関わりのある者に贈るものとし、岡山県の教育文化の向上に著しい貢献が期待される個人又は団体を対象とする。教育、文化の両面から地域課題に取り組み、地域振興への貢献ができていることを重視する。

《推薦》 岡山県教育委員会、市町村教育委員会等教育関係団体、報道機関等からの推薦

《賞》 表彰状、賞牌及び副賞(30万円) 賞は3~5件程度

《選考》 選考委員会で選考し、理事現在数の2分の1以上の同意を得て理事長が決定

《予定》 5月告知、6~7月推薦受付、8月中下旬選考委員会、10月28日贈賞式(予定)

2 助成事業 予算総額 67,250 (前年度当初 55,870 今回補正後 56,825)

… 「教育文化活動助成」として、教育及び文化の視点から地域振興を図る活動全般に助成する。2021年度より導入した「助成業務支援システム(電子申請システム)」を更に改善し、申請者、審査員、事務スタッフ等にとって、より使いやすく、事務手続き等を簡素化したものに改善、改良していく。

成果報告会は、オンライン形式のみならず、4年ぶりに対面形式でも実施する。助成団体、審査委員等、相互に交流する機会も設ける。

特定助成は従来通り、①先進的事業助成、②グローバル化事業助成、③瀬戸内文化育成助成の3分類とする。

(1) 教育文化活動助成(公募助成) 予算額 36,000 (前年度当初 31,530 今回補正後 33,755)

《目的》

教育及び文化の視点から地域振興を図る活動による人づくり・地域づくりを応援し、地域が活性化することを期待して、教育文化に関する有意義な実践活動等に助成する。

《助成対象となる活動》

教育又は文化を手段に用いて、岡山県内で実施される地域社会の課題解決と社会的価値の創造を図る活動(教育文化の質の向上も含む)。申請区分は、以下の4類型とする。

- 1 地域社会(コミュニティ)の活性化のために教育や文化芸術を活用する活動
- 2 次世代育成のために教育や文化芸術を活用する活動
- 3 教育の質の向上や普及に取り組む活動
- 4 文化芸術の質の向上や普及に取り組む活動

《助成額》 原則1件当たりの上限は30万円

《期 間》 2023年（令和5年）度中に実施する事業

《審 査》 審査委員会（4部会16名）で審査し、理事現在数の2分の1以上の同意を得て決定

《予 定》 12～1月申請受付、3月審査委員会、4月事業開始、9月成果報告会

- (2) **福武教育文化賞受賞者フォロー助成 予算額 3,900**（前年度当初 3,000 今回補正後 3,000）
福武教育文化賞の受賞者に対して、受賞後も継続して質の向上と人づくり・地域づくりの活動を行うことを促すため、受賞後3ヵ年30万円を限度として申請に基づき助成する。13件を見込む。

(3) **特定の特色ある活動に対する助成（特定助成）**

予算額 27,350（前年度当初 20,540 今回補正後 20,070）

教育文化活動支援のうちで、公益性が明確で、継続的に支援しなければ効果的でないものに以下の3分類に分けて、助成する。

- ① **先進的事業助成 予算額 23,050**（前年度当初 16,700 今回補正後 16,180）
新たな教育文化的価値の創造に寄与する先進的かつ実践的な活動を行う団体等に対して助成する。
- ・ 岡山大学国吉康雄寄付講座（10,500）
 - ・ 高校・大学と地域の連携・協働を推進する活動（2,350）
… 高校・大学アクション助成250×7校、次世代教育研究300、無花果300
 - ・ 学校出前講座事業 … 公益社団法人岡山県文化連盟1,000
 - ・ 多様な芸術文化鑑賞支援（6,200）
… 「岡山の美術」活性化事業実行委員会2,000、一般社団法人クニヨシパートナーズ500、みるを楽しむ！アートナビ岡山300、健康と豊かな人生を創るためのビジュアルアート教育300、特定非営利活動法人アートファーム1,000、宵のサロン1,200、RSKTenjin9等600、岡山県森の芸術祭300
 - ・ ハロー！ミュージアム事業（3,000）
- ② **グローバル化事業助成 予算額 1,500**（前年度当初 1,500 今回補正後 1,500）
- ア) **多文化共生のネットワーク作りを進める事業への助成（900）**
海外からの留学生が地域社会と繋がる事業に対して助成する。
… 居場所作りネットワーク INE 600、Share&Cill!!! 300
- イ) **英語力向上につながる研修事業への助成（300）**
小中高校生に対して、各地域で行われる実践的な英語力向上事業に対して助成する。
… 矢掛町外国語教育推進研究会 300
- ウ) **日中青年交流事業（岡山県日中教育交流協議会 300）**
岡山県と中国の高校生が相互に交流し、互いの学校紹介や意見交換を行う活動に助成する。。
- ③ **瀬戸内文化育成助成 予算額 1,150**（前年度当初 2,300 今回補正後 2,300）
瀬戸内文化の育成、創出のために必要なプロジェクトに対して助成する。
… たまの☆おもてなし推進委員会300、こども芸術アプローチ300、SANNAN 犬島プロジェクトチーム300、一般社団法人犬島ととと倶楽部250
- (4) **公募助成に準じる緊急を要する等の助成 予算額 800**（前年度当初 800 今回補正後 0）
年度途中で申し出のある緊急を要する教育文化活動に対して助成する。

3 研修会等開催事業 予算総額 1,400 (前年度当初 1,300 今回補正後 4,110)

(1) フォーラム

1月に地域で活躍する著名な有識者等を招き、今後の財団活動の指針となる講演会等を開催し、更に財団の発信力強化につなげ、参加者の交流を図る。

(2) and F 教室

助成団体・個人に共通する課題(運営、基盤等)を解決することに繋がる実践的なセミナーを複数回実施する。昨年までは、コロナ禍でもありオンライン形式だったが、極力対面形式で実施する。

4 調査研究事業 予算総額 900 (前年度当初 1,000 今回補正後 1,800)

- ・ 公募助成事業についての従来への振り返りと今後の対応についての調査研究
公益目的事業の大半を占める公募助成について、審査委員、役員に参加のもと、外部有識者と交えた懇談機会を設ける。そこで改めて公募助成事業を総括し、今後の活動へ生かす。
- ・ 優れた事例の調査研究
中長期の観点から、先進的な事例を学ぶための視察を実施する。

5 主催公演事業 予算総額 0 (前年度 0)

今年度は実施せず、財団設立40周年事業において、実施することとしたい。

[参考]

この事業は、2018年度に「新岡山のいろ・かたち」事業(岡山から全国、世界に発信できる芸術文化の公演を行う。岡山の誇れる文化や芸術、またそれらが交流連携した新たな魅力が発信される公演機会を年に一度、Jホールで提供する。)として新設したが、財源不足のため、現在まで休止している。

6 広報事業 予算総額 10,920 (前年度当初 8,300 今回補正後 11,325)

(1) 一般広報

① 財団公式WEBサイト

助成団体の活動報告書が簡便に検索できるアーカイブを昨年度より運営しているが、さらなる充実と活用促進に努める。

外部団体とも連携し、助成団体の活動をホームページ上で発信する。

② 財団機関誌「FUEKI」

昨年度より4ページ増頁し20頁で、年3回発刊の内容充実に努める。

(2) 瀬戸内国際芸術祭広報

瀬戸芸のボランティア組織であるNPO法人こえび隊に一部業務委託し、スタディツアーを実施する。瀬戸内海の歴史や文化、瀬戸内国際芸術祭の今日までを事前学習し、アート作品の鑑賞や島民との会話等をしながら、訪問後に振り返りの研修を行う総合的なプログラム。昨年度は、調査研究事業として実施したが、その実績を踏まえて、中高生を対象として参加を募る。

7 周年記念事業 予算総額 0 (前年度当初 5,000 今回補正後 2,800)

財団設立35周年事業は昨年度で終了した。設立40周年(2026年)を目途に準備を始めるが、今年度は積み立てのみとする。